

歯内療法VSインプラント（抜歯基準の再考） ～コーンビームCTをあますことなく使いこなす～

近年の技術革新は歯科界に大きな変革をもたらしました。コーンビームCT、歯科用実体顕微鏡、Ni-Tiファイルは、今や当たり前の物として日々の臨床に使用されています。この変革に大きく影響されたのが歯内療法とインプラントです。これらの技術革新は歯の保存の可能性を拡大し、インプラントの成功率および手術の安全性の向上に道筋をつけました。しかし、これらは正しく使って初めてその真価を発揮するものです。使い方を知らない、または、間違った使い方をしては、思ったような結果を得られない場合があります。また、これらは抜歯基準も変えようとしています。今回歯内療法およびインプラントの両方の立場からコーンビームCTによる3次元診断法について症例をもとに解説したいと思えます。



講師 富永 尚宏 先生

昭和60年 神奈川歯科大学卒
平成元年 神奈川歯科大学大学院歯学研究科修了（歯内療法専攻）
平成元年 長崎大学歯学部第一口腔外科 助手
平成7年 長崎大学歯学部第一口腔外科 講師
平成8年 富永歯科クリニック開院 同院長
PIO長崎インプラントセンター併設開業
長崎PIO国際歯科センター併設（研修部門）
長崎大学大学院歯学研究科 講師
平成14年 長崎大学歯学部 臨床教授
平成20年 神奈川歯科大学 非常勤講師
平成21年 日本歯周病学会 歯周病専門医
平成24年 神奈川歯科大学客員教授
日本歯内療法学会学術委員、日本顕微鏡歯科学会評議員

内容

前篇 10:30～12:00

- ※集学的治療（包括治療）における術前診療の重要性
- ※集学的治療における歯内療法とインプラントの立ち位置
- ※術前診断におけるコーンビームCTの役割

休憩 12:00～13:00

後編 13:00～14:30（質疑応答含む）

- ※保存 or 抜歯？ 歯内療法 VS インプラント
- ※「歯内療法今昔物語」・・・最新歯内療法とは？
- ※歯内療法にこそコーンビームCT
- ※インプラントだけではもったいない！コーンビームCTを使いこなす

日時：2013年12月1日（日） 開場10:00 開演10:30

会場：（株）マルミ歯科商店・岡山支店（2Fセミナー室）

岡山市北区大和町2-3-48

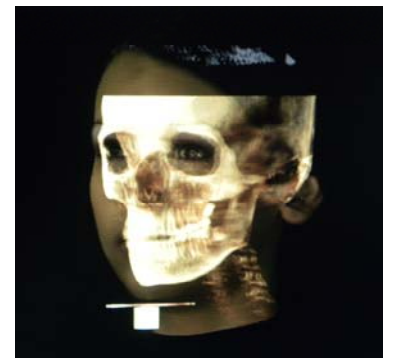
TEL 086-225-4378 FAX086-222-0383

定員：30名

参加費：10,000円（昼食付き・税込）

受講申込書にご記入いただきマルミ歯科商店・岡山支店までFAXいただくか、担当営業までお渡し下さい。受講料の入金確認をもちまして、申し込み受付完了とさせていただきます。キャンセルによる受講料のご返金は致しかねますのでご了承下さい。

振込先 中国銀行 法界院支店（普通）1430694 ・ みずほ銀行 岡山支店（当座）0032213



参加申込書 Fax:086-222-0383

歯内療法（抜歯基準の再考）VSインプラント（12月1日開催）

お名前： _____ 医院様名： _____

ご住所： _____ 電話番号・Fax番号： _____

主催 （株）マルミ歯科商店・岡山支店

協賛 朝日レントゲン工業（株）